

寺報

No.593

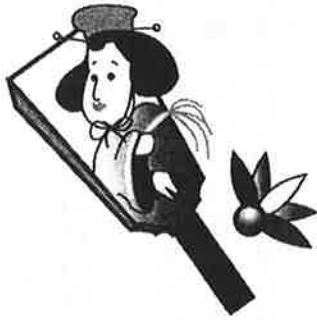
平成29年1月

蓮華寺
發行

御聖訓

吹く風もゆるぐ木草も流るる水
の音までも、この山には妙法の五
字を唱えずと云うことなし。

『波木井殿御書』



(解説)

日蓮大聖人は当時の鎌倉幕府に対して、法華経に改宗する事を三度進言されましたが、どれも受け入れられず、その後信徒の「波木井実長」のお招きにより身延山に入山されました。

そして、昼夜に渡り法華経・お題目の読誦と弟子・信徒の信仰指導に当り、ついに九ヶ年を過ごされたのです。

この時期は大聖人の御生涯で一番心も身体も安らいだのでしよう。

そこでこの身延山こそが、お釈迦様が八年間法華経をお説きになられましたインドの靈鷲山りょうじゆせんというお山と同じであると確信されました。

そしてこのお言葉のように、まさに身延山の大自然そのものが法華経の世界であるといわれたのです。

どうか、皆様も新しい年を迎えまして、大聖人の教えを受け継ぎ、法華経・お題目を出来るだけ唱えていき、無事一年を過ごしていきましよう。

実行あるのみです。

新年のご挨拶

平成二十九年の新春を迎えまして、檀信徒の皆様、誠にめでとうございます。

日蓮大聖人は、人生とは一日一日の積み重ねをいいますが、ただその中でだらだら過ごすのではなく、我々があらゆる物に感謝をする日々にしていかなければならないとお説きになりました。

つまり我々がそれを実践して行きますと、一日生きる事の大切さ、素晴らしさが見えてくると教えられているのです。

更に、今我々がこうして生き、暮らせるのは、我々に生命を与えてくれました、ご先祖様のお蔭である事を忘れてはいけないと教えます。

しかし、現代の人々はその事を忘れ、自分は一人で生きてきたと勘違いをし、先祖や仏様を粗末にしてきています。

そして最悪な事には、亡くなられた方をご供養する事もなく、そのままお墓に納めたり、またお骨を海や山に撒いたりしています。

こういう好き勝手な事をしていきますから、全国で連日のように不幸な事故や事件が多発しているのではない

でしょうか。

皆様もなかなか思う通りの生き方は出来ないと思いますが、日蓮大聖人は一年三百六十五日を法華経・お題目の信仰を元に生活した結果、常に幸せに生きる事が出来たと、そのご一生を振り返っております。

どうか、皆様もこの教えを元に、今年度は法華経・お題目の信仰を持ち・行い・護り、弘めながら、『命』ある限り、頑張つて生きていこうではありませんか。

追膳は元旦より八日まで

お休みです

お正月は位牌堂・永代供養堂に上げます『追膳』がお休みとなりますので、各自【お供え餅】を上げるかまたお寺に注文し上げてもらって下さい。(五百円)

(注)お餅は数に限りがありますので、お早めに！

檀信徒研修会は三月まで

お休みです

どうか檀信徒の皆様は、一月五日より二月二日まで『寒修行』に是非参加して下さい。

寒修行に参加しましょう！

日蓮大聖人は「過去の因を知らんと欲せば、その現在の果を見よ、未来の果を知らんと欲せば、その現在の因を見よ。」と教えています。

つまり、現在の我々の苦の原因となつています過去の重罪を、何とかして今の世で消滅しなければ、未来もこの苦から決して免れる事は出来ないという事です。

現代人は、何でも自分の思うようにならないと、その責任を社会や他人のせいにしてしましますが、本当の原因は自分自身にあるのです。

したがって、これを今の代の自分が自ら断ち切り、そして懺悔(反省)し、次まで絶対持ち越さないようにしていかなければならないのです。

大聖人は、それには『南無妙法蓮華経』のお題目を唱えるしか解決方法はないといたしました。

どうか皆様も、是非この教えを元に、お寺で一心に唱題行をしましょう。

また、仏様や先祖の供養の為、そして各家の家内安全や家族の身体健全を祈る事も大事でしょう。

一月五日(木)～二月二日(木)迄二十九日間

午後七時より一時間(小本堂)

次第

- 礼拝文「謹みて礼拝し奉る」 [4ページ]
- 開経偈「無上甚深微妙の」 [6ページ]
- 読経「如来寿命品第十六」 [13ページ]
- 懺悔文「夫れ懺悔は治病」 [47ページ]
- 御妙判「祈 禱 鈔」 [67ページ]
- 唱題行「南無妙法蓮華経」 [72ページ]
- 宝塔偈「此経難持」 [72ページ]
- 回向文「導師が唱えます」 [72ページ]
- 四誓願「誓つて南無妙法」 [76ページ]
- 三整唱「なむめう」 [77ページ]
- 弾指合掌(祈りを込めます)

⑨なお「寒修行」ですので、暖房は致しませんので、各自防寒の用意をして来て下さい。

また足の悪い方は、イスや安座にて結構です。

持参品・聖典・数珠・団扇太鼓(所有の者)

最高の教え法華経

節分会のお知らせ

二月三日(金)

午後六時開始

| | | |
|-------------------------------|--|----------|
| 男性大厄 | 数え二十五歳 | 平成五年生れ |
| | 数え四十二歳 | 昭和五十一年生れ |
| 女性大厄 | 数え十九歳 | 平成十一年生れ |
| | 数え三十三歳 | 昭和六十年生れ |
| 大正十年生れ | | |
| 昭和八年・二十年・三十二年・ 四十四年・五十六年生れ | | |
| 平成五年・十七年・二十九年生れ | | |
| その他 | ・前厄・後厄・還暦・古稀・喜寿 ・傘寿・米寿・卒寿・白寿など ・今年ご祈祷希望者はどなたでも | |

★厄払い・三千円

- ◎豆まき◎祈願読上げ
- ◎お加持◎厄札◎絵馬
- ◎福豆のお土産等

★一般祈願・千円 (◎節分札◎祈願読上げ)

◎本人が来られない場合は、代理の方か、または帯・ベルト・肌着等、身に着ける物をご持参下さい。

『位牌壇』の募集!

- ◎分割は三年間の内に、回数をご相談下さい。
- ◎下から上席に上がるには、差額を納めて戴きます。
- ◎特に青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので、位牌壇がありますと、常にお寺に参拝出来ます。
- ◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱えられますので、皆様の御先祖や仏様が今後に渡り守り続けられていきます。

『聖徒団会員』募集!

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞『聖徒タイムズ』・寺報等の援助などに活用します。

会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

霊断

檀信徒の皆様で、日頃から何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。

日蓮宗に伝わる秘法『霊断』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。なお、宗旨宗派は問いません。

(注)必ず御予約下さい。 ☎776-5840

荒行堂参拝旅行

昨年十二月八日〜九日に掛けまして、日蓮宗大荒行堂の見舞い団参が総勢三十名の参加で行われました。今年も、当山勤務の加藤曉宏上人が第初行で入行し、厳しい修行を続けています。

当日、荒行堂の伝師様の面会所で、加藤上人に面会しその一段とたくましくなられたお姿に、信徒の皆様も一同に感動しました。

そして、皆様から「どうか、成満じょうまんを目指して頑張つて修行して下さい。」と励ましのお言葉が掛けられますと、加藤上人は涙を流しながらも「残りの期間も一生懸命頑張ります!」との力強いお言葉を返してくれました。

その後、工藤堯幸伝師御導師の元、荒行僧約百名が出座するご祈祷を受け、改めて参加者一同、日蓮宗の大荒行の素晴らしさを感じとる事が出来ました。今回参加の皆様は、誠にご苦勞様でした。

加藤曉宏上人『祈禱会』

二月二十五日(土)に決定!

水行・・・午前十時半 法要・・・午前十一時

各『会費』納入のお願い

檀信徒の皆様で、まだ平成二十八年度の『護持会費』『位牌堂管理費』『トロー代(提灯)』『聖徒団会費』等の納入がまだされていない方は、どうかご協力をお願い致します。

この中で『護持会費』は、全檀家の皆様に「日蓮宗々門」と宗教法人「蓮華寺」の護持運営の為にお願いしています。

また『位牌堂管理費』は位牌堂の電気・掃除等のメンテナンス代、『トロー代』は大行事の際に下げます提灯の電気・修理費等、『聖徒団会費』は月初めの家内安全の祈願料と聖徒団の運営費として、いずれも加名者の方のみをお願いしています。

なお平成二十九年度分も、よろしくお願い致します。

◎昭和二年に完成し、昭和二十年の青森空襲にも耐えてきました蓮華寺『大本堂』、現在青森で一番古い建物となりました。

どうか、皆様のお力で守り続けていきたいと思います。

伝道部からの御礼とお願い

部長 小野 正春

昨年度も檀信徒の皆様への修行としまして、一月六日～二月二日までの二十八日間の『寒修行』、四月～十一月までの月一回の『檀信徒研修会（お経と唱題行）』は、たくさんの方が参拝され、無事成功の内に終える事が出来ました。

その他伝道部では、「図書・カセットテープ・CD・DVD」等の貸出もしていますので、どうぞご利用下さい。どうか、今年も皆様のご協力をよろしくお願い致します。

奉仕部からの御礼とお願い

部長 山田 兼補

昨年度は「年中行事」の他、青森県宗務所主催の『立教開宗会』の大行事、更に春秋のお彼岸とお盆の「追膳」のお手伝い、「御会式の花作り」等の奉仕活動がありました。教宣部員と一般檀信徒の皆様のご協力により、無事終了する事が出来ました。

今後、教宣部員以外の檀信徒の皆様でも、菩提寺「蓮華寺」の為に協力戴ける方は、ご遠慮せずにお手伝いをよろしくお願い致します。

どうか今年も頑張つて奉仕活動をしましょう。

教宣部からの御礼とお願い

部長 杉淵 昌三

皆様もご存知のように、お寺の行事は様々のお手伝いがあり、沢山の方々のご協力が必要です。

『教宣部』は、まず『奉仕部』より依頼がありますとお寺の行事を中心に奉仕活動をお願いします。

その他、昨年は「加藤暁宏上人」の【大荒行入行の歓送会】、部員同士の親睦を図る【交流会】を開催致しました。

このように、お寺はとても楽しい所です。

どうか檀信徒の皆様の中で、菩提寺の為・先祖の為・自分自身のご信仰の為に活動したい方は、迷わず『教宣部』に入部して下さい。

お願い致します。

教宣部員募集中！

十月の行事

一日(日) 元旦祝禱会 午前0時より

・年の始め、自ら進んでお勤めに参加しましょう。

・お経は、聖典(お経本)を最初から順にゆつくり読みますので、皆様も一緒に唱えましょう。

・お正月の法要は、この一回のみです。

② 一月分の『盛運祈願会』は元旦には行いません。

十三日(金) 日蓮大聖人の御命日 午後一時より

・お経 如来神力品第二十一(訓読・日本語読み)

・お経 如来寿量品第十六(真読・漢字読み)

・皆様も、大聖人様への御報恩を忘れずに参拝し、お経とお題目と一緒に唱えましょう。

③ 『十三日のお勤め』のお経練習用の《カセット・CD

D・お経本》は事務所にてお求め下さい。

寒修行(唱題行)

一月五日(木)～二月二日(木)【二十九日間】

午後七時～午後八時迄

於…小本堂

☆奉仕のお知らせ

平成二十八年十二月

三十一日(土) 元旦祝禱会のお手伝い 午後十時より

【教宣部・男女共沢山】

*新しい年に向けての奉仕活動、ご参拝を兼ねながら
よろしくお願い致します。

平成二十九年一月

三日(火) 元旦祝禱会の後片付け 午前十時より

【教宣部・男女共沢山】

*ちようちんや幕・幟などの後片付けです。

平成二十九年二月

三日(金) 節分会のお手伝い 午後三時より

【男女共沢山】

◎ 奉仕部長・山田兼補 ◎ 教宣部長・杉淵昌三

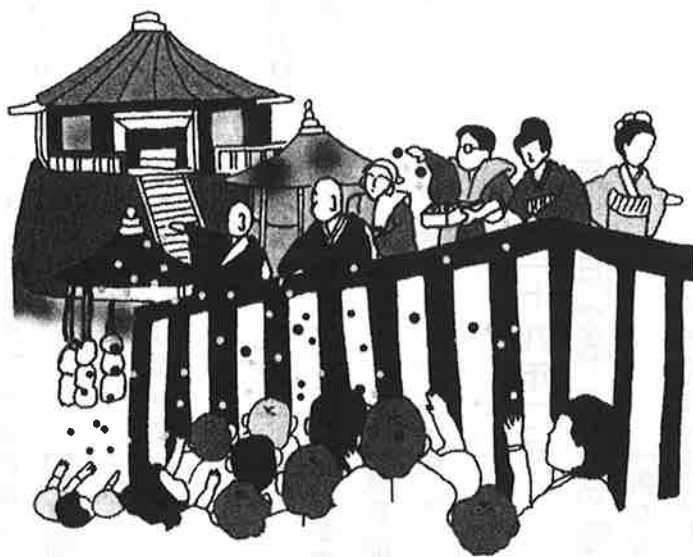
◎ 伝道部長・小野正春

(注)部員以外でお手伝いの出来る方も、当日時間までお集まり下さい。

せつ ぶん え 節 分 会

二月三日(金)

午後六時より



(厄払い・豆まき・法楽加持・祈願あり)

*厄払いと一般の祈願は一月十日より受付けます。

②豆まきを行いますのは、年男としおとこ・年女としおんな (西年とり)、厄年やくどし、その他
本年度ご祈祷希望者の方となります。